

Vol. 128 2016.4.17

理事長トーク Top Interview

全病院・施設の
「運営方針」のヒアリングを行っています

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



4月も半ばとなりました。今年も「運営方針」のヒアリングが始まっています。

「運営方針」のヒアリングは、新年度の初めに全ての病院・施設に私と本部の各部長が直接赴き行う重要な会議です。会議には、メディカルディレクター、マネージングディレクター、各部門の責任者が出席し、新しい年度の運営方針の具体的な内容に関してディスカッションを行い、計画が適正かどうかを判断しています。

2016年度は以下の日程で、グループ全病院・施設でヒアリングをおこなっています。

H28年度 予算ヒアリングスケジュール

- 3/22 (火) ケアポート板橋
- 3/29 (火) 竹川病院、ケアセンターけやき
- 3/31 (木) 熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川、西伊豆健育会病院、しおさい
- 4/7 (木) いわき湯本病院
- 4/11 (月) 石川島記念病院
- 4/13 (水) 石巻健育会病院、しおん、ひまわり在宅サポートグループ
- 4/15 (金) ライフケアガーデン湘南、茅ヶ崎セントラルクリニック
- 4/27 (水) 花川病院、喬成会在宅事業部



今年のヒアリングでは、まず理念実現時の映像（理念ビデオ）を見て目指すべき姿を再認識してから会議を行いました。また会議では、冒頭に「理念」と「病院・施設理念の実現時の姿」「一年後の姿」を確認し、その後に各部門長よりその実現に向けたアクションについて発表してもらいました。

会議のコンテンツは、次の通りです。

(1) 理念実現時の映像の上映

(2) 平成28年度予算要約書について

1. 病院・施設理念
2. 今年度の運営方針（理念実現次の姿、1年後の姿）
3. 理念実現のために各部門で具体的に実施すること
4. 平成28年度 BSCスコア・定量化指標
 - ・平成28年度 予算
 - ・マーケティング
 - ・リクルート
 - ・組織管理
 - ・危機管理
 - ・患者満足度向上
 - ・職場環境改善
5. 組織図【会議体・委員会】

(3) 医療の質マネジメント

- ・インシデント
- ・クリニカルアウトカム
- ・患者満足度向上
- ・診療に関わる書類の整備

今回の理事長トークでは、いわき湯本病院と石川島記念病院のヒアリングについて、その様子をご紹介します。



4月7日 いわき湯本病院

いわき湯本病院では、医局・看護部・リハビリテーション部・薬剤科・放射線科・栄養科・検査科・医療連携室・事務部が出席して、会議が行われました。皆さんの発表の後、私からは以下のような総評をしました。



- 「地域包括ケアのモデル病院に」という目標を掲げているが、**地域のクリニックとの連携**をさらに強めてほしい。特に**地域医療連携室が中心**となって、地域のクリニックと定期的な連絡会を実施するなど、**システム化**して取り組んでもらいたい。
- 身体抑制については減らすことを目標とせず、「**ゼロ**」を目標にし「ゼロ」を達成するためにどうするかを考えないと減らすことはできないと考えている。
- 職場環境改善について、**有給消化率アップ**と**無駄な残業を減らす**ことが、触れられていなかった。それぞれの部署はもちろんだが、職場環境改善の中心となる部署は、そのサポートチームである事務部である。**まず事務部門で取り組み、それを他の部署に展開**して欲しい。



4月11日 石川島記念病院

石川島記念病院では、医局・看護部・薬剤科・リハビリテーション科・放射線科・臨床検査科・臨床工学科・栄養科・医療連携室・事務部の出席のもとに会議が行われました。石川島記念病院は、2014年に新築移転し新たに心臓病センターを開設して、今年で3年目になりますが、まだ経営の安定化ができていません。しかし、両ディレクターの報告で、二次救急病院の基準を満たしていること、地元医師会の推薦をいただいたこと、認定に向けて着実に準備をしていること等の報告を受け、着実に地元になくはならない病院に成長してきていることを感じました。各部署の発表の後、私からは以下のような総評をしました。



- 栄養科については、食事満足度を**現在の3.78という状況から4.2まで上げる**という現状から見ると**高い目標**となっている。外注を使って満足度を上げるのは大変だとは思いますが是非頑張ってください。
- 各部署の1年後の姿は、全体的に去年より実態を踏まえて出されていて良いと感じた。また、病院の1年後の姿についても「地域に“やさしい”病院」「心臓病に“つよい”病院」「“おもしろい”仕事ができる病院」と、私が新年にあげたキーワードを用いてわかりやすくまとめられている。この1年後の姿の達成が、病院の次のステップにつながり、また健育会グループのキャッチフレーズである「ビジョンを達成して、みんなで輝きます」の達成につながっていくと思う。



部長報告会と同様に、ヒアリングで病院を訪れたときには、私は必ず病院内をラウンドするように心がけています。患者さんやご家族の表情、働く職員の姿、設備のクリンリネスなど、自分の目で確認することは、とても大切なことだと考えています。また、患者さんが快適に過ごすことができるかという視点も常に持つように心がけています。例えば石川島記念病院では、ラウンド中に診療を待つ患者さんの座り心地のよい椅子の設置なども提案もしました。細かいことかもしれませんが、病院のよりよい環境作りも大切なことだと考えています。



昨年の介護報酬、今年の診療報酬のマイナス改訂という中、病院・施設はとても厳しい経営環境となっています。しかし、ヒアリングで確認した理念達成時の姿、1年後の姿を確実に実施し達成することで、必ずや健育会グループ全体として成長できると確信しています。今年のグループのキャッチフレーズ「ビジョンを達成して、みんなで輝きます」の実現に向け、職員の皆さんと新しい年度も頑張っていきたいと考えています。